



なるほど！
それいいね！
…に出あえる時間

はじめに、イメージしてみてください。

食器を洗っていたら、手がすべってしまい
お気に入りの茶碗がわれてしまいました…。
お店に行ったら、どんな茶碗を買いますか。

お店についたら茶碗を手にとって、ちょうどいい大きさはどれかな、気持ちのよい手ざわりはどれかな、ご飯をおいしそうに盛ることができる形や色はどれかな…と自分の生活にピッタリなデザイン探しがはじまると思います。

この時、体全体を使って働かせているのが「**造形的な見方・考え方**」というものです。それこそ図工や美術の時間に学んだ力であり日々の生活の中で私たちが身に付けた力です。

図画工作科の時間は、ただ絵を描く時間、工作をする時間というわけではなく、様々な表現や鑑賞の活動を通して、**つくりだす喜び**を味わう時間です。ホンモノそっくりな絵や立体作品をつくりだすことが目的ではありません。作品や活動をつくりだすということは**かけがえない自分**を見いだしたり、つくりだしたりすることなのです。

生活の中や自然の中にある形や色などの美しさやよさ、面白さに気付き、そこで感じたことや、好きな形や色などを自らの表現に取り入れてみる…図工の楽しさはそこにあります。

でも、図工の時間には、画用紙やいろいろな材料が必要で、家庭学習でやるには準備が難しいのでは…そんな思いもあるでしょう。

そこで今回は、横須賀市造形教育研究会で教科書と同じねらいで開発されている題材を中心に、できるだけ家庭学習で取り組みやすい題材を紹介いたします。そこで見られるお子さんの豊かな発想に対して「**なるほど！**」「**それいいね！**」と共感してみてください。

きょうから きみは…

でこぼこたんけんたい

「きょうから きみは でこぼこたんけんたいだ」
わたしたちのまわりには、「でこぼこ」がたくさんあるね。

おうちの中にある「でこぼこ」をさがして、それをみんなにおしえてあげよう。

やりかたは、右にかいてあるので、それをさんこうにして、やってみよう。

ただし「でこぼこ」にはきずつきやすいものもあるので、うつしとってもよいか、おうちの人にきいてからにしましょう。

おきにいりのさくひんができたなら、それをきりとって、まずは、おうちの人におしえてあげよう。

よいするもの (よいできたら、□に○をかこう)

- いろえんぴつ など
- かみ (いらなくなったプリントなどのうらでよい)
- ワークシート
- えんぴつ・けしごむ
- のり・セロハンテープ

1. 「でこぼこ」しているものをさがす。

おうちにある、さわるとちょっと「でこぼこ」しているもの、「これはどうだろう」とおもうものをさがしてみましょう。
はっぱなども、おもしろいですよ。



2. 「でこぼこ」しているものにかみをのせていろえんぴつなどでやさしくこする。

「でこぼこ」の上に、かみをのせましょう。そして、いろえんぴつなどのすきな色をえらんで、やさしくなでるようにこすってみましょう。



「でこぼこ」はうごきやすいので、セロハンテープでとめておくと、うつしとりやすくなるよ。

3. いちばんのお気に入りの「さくひん」をきりとってワークシートにはる。

「でこぼこ」の中で「これは！」とおもうさくひんをえらびましょう。それをきりとってのりでワークシートにはりましょう。
ワークシートの□の中の、どこに、どのようにはったらよいか、かんがえてみましょう。

4. 「お気に入りの」をしょうかいする。

ワークシートの右がわに、きょうやったことをおもいだしながら、お気に入りの「でこぼこ」について文にしてしょうかいしましょう。

きょうから きみは…

保護者用

でこぼこ探検隊

横須賀市の比較的多くの学校で取り組まれている低学年題材です。身の回りにある凹凸しているものを見つけて、紙にうつしとる活動です。いわゆる「こすりだし（フロッタージュ）」の描画技法です。

普段、当たり前目にしているものも「こすりだし」とおして紙にうつしとられることで、不思議な印象になります。

そして、そこに新たな色が与えられることで、お子さんならではの世界がうみだされます。

一見、単純な活動ですが、大人でも楽しめる表現活動です。みなさんも「でこぼこ探検隊」になって新たな世界をうみだしていただけると、お子さんの意欲も刺激されると思います。

なお、この学習は「版に表す活動」の入り口になる題材の1つです。

1. 「でこぼこ」しているものをさがす。

児童用には、いくつかヒントになるものを写真で紹介していますが、それにとらわれず、いろいろなものを見つけて欲しいです。厚みのあるものは、こすりだしにくいですが、お子さんが見つけたものをまず尊重して、挑戦してみてください。「何ができて、何ができない」ということを考えることも大切です。

2. 「でこぼこ」しているものにかみをのせて いろえんぴつなどでやさしくこする。

ポイントは上に記しているとおりの「やさしく」なでるようにこすることです。セロハンテープで固定することも記してありますが、ずれたりぶれたりしたものにも、面白さやよさがあります。

ただし、「上手いかない」「思い通りにならない」と感じることも大切な経験となります。その思いの奥には「こういう風に表したい!」という思いがあり、そこからその子なりの工夫が生まれるからです。また、上手いかないことをじっくり悩んだり、上手いかないと表現したりすることも大切な学びの姿です。

3. いちばんのお気に入りの「さくひん」を きりにとってワークシートにはる。

ここから別紙のワークシートでの学習になります。一応、枠は設定していますが、2年生にとっては、はみ出ることも気にしないでください。また1つに選べない時も「そうだよね、どっちもいいね。じゃあ2つ貼っちゃおうか」と共感してあげてください。ここでの目的は、どれか1つ選ぶことではなく、選ぶという行為を通して、形や色をじっくりと「鑑賞する」ということです。

4. 「お気に入りの」をしょうかいする。

できるだけ具体的に書けるとよいのですが、まだ学年が始まったばかりですし、家庭学習なので「なんとなく…」でもOKです。学校では繰り返し取り組むこと、友だちの取組を紹介することで、徐々に発達の特性に合った表現ができるように指導しています。

用意するもの (お子さんが用意できたかご確認をお願いします)

- 色鉛筆 など
- 紙 (いらなくなったプリントなどの裏でよい)
- ワークシート
- 鉛筆・消しゴム
- のり

きょうから きみは…

でこぼこたんけんたい

お気に入りの「でこぼこ」さくひんは…これ！

1. □の中にお気に入りの「でこぼこ」さくひんをのりではりましょう。
2. ほかのさくひんは、このワークシートのうらにはってもよいです。

あなたのお気に入りの「でこぼこ」について、下のしつもんにとたえながらみんなにおしえてあげましょう。

1. その「でこぼこ」はどこにありましたか。

2. お気に入りのポイントはなんですか。

3. この学しゅうで、かんがえたことや
おもったことをおしえてください。

あたらしい「でこぼこ」を見つけたら、すきないろでうつしとってみよう。

2年 組 () なまえ: